

授業科目名	民族の世界 II 民族の世界史 2		
科目番号	1B01051	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	秋 AB 月 1
担当教員	中西 僚太郎		
授業概要	<p>本科目では、世界史上の様々な時代と地域における民族 (nation)・民族集団 (ethnic group) をめぐる諸相を学ぶことで、民族・民族集団とは何か、また人類は民族、民族集団をめぐり、どのような問題に直面してきたのかについて理解を深める。民族の世界史 2 では、主に東アジアの民族・民族集団について考察する。</p>		
備考	<p>(人文開設) 西暦奇数年度開講。 【受入上限数 120 名】</p>		
授業形態	講義		
科目群	B		
水準・区分	100 番台 学際的科目		
教育目的	<p>本科目では、世界史上の様々な時代と地域における民族 (nation)・民族集団 (ethnic group) をめぐる諸相を学ぶことで、民族・民族集団とは何か、また人類は民族、民族集団をめぐり、どのような問題に直面してきたのかについて理解を深める。民族の世界史 2 では、主に東アジアの民族・民族集団について考察する。</p>		
到達目標	<p>1 東アジアの民族・民族集団についての知識を習得し、的確な理解と考察ができるようにする。 2 歴史や民族・民族集団への関心を深める。</p>		
キーワード	民族, 民族集団, 国家, 歴史, 東アジア世界		
各回授業計画	<p>第 1 回【10 月 7 日 中西僚太郎 人文社会系】 [東アジア地域の自然環境と基層文化] 東アジア地域の歴史の舞台となる自然環境と基層文化について解説する。</p> <hr/> <p>第 2 回【10 月 18 日 (振替授業日) 武井基晃 人文社会系】 [台湾の近代史] 日本と台湾の関係史を中心に解説する。</p> <hr/> <p>第 3 回【10 月 21 日 武井基晃 人文社会系】 [琉球・沖縄の近代史] 琉球・沖縄と日本との関係史について概説する。</p> <hr/> <p>第 4 回【10 月 28 日 中西僚太郎 人文社会系】 [東アジアの都城] 中国を中心とする都城の形態と機能について解説する。</p> <hr/> <p>第 5 回【11 月 6 日 (振替授業日) 上田裕之 人文社会系】 [中華民族について] 中国において漢族と 55 の少数民族を不可分一体のものと見做すために作られた「中華民族」という概念について解説する。</p> <hr/> <p>第 6 回【11 月 18 日 上田裕之 人文社会系】 [中華民族について] 「中華民族」に関して歴史的視座から批判的検討を加える。</p> <hr/> <p>第 7 回【11 月 25 日 隋藝 非常勤講師】 [戦争とナショナリズム] 朝鮮戦争という背景の中で、中国社会の変容について、中国の東北に着目して解説する。</p> <hr/> <p>第 8 回【12 月 2 日 隋藝 非常勤講師】 [戦争とナショナリズム] 朝鮮戦争という背景の中で、中国のナショナリズムの高揚について、中国の東北に着目して解説する。</p> <hr/> <p>第 9 回【12 月 9 日 杉江拓磨 非常勤講師】 [西アジアからの視点] 古代メソポタミアの楔形文字と漢字との比較を通じて文字が民族や言語の違いを越えて広まっていく様相について解説する。</p>		

	<p>第 10 回【12 月 16 日 中西僚太郎 人文社会系】 [東アジアの文明史的位置づけ] 中国を中心とする東アジア地域を世界の諸文明のなかで位置づけて解説する。</p> <hr/> <p>第 11 回【12 月 23 日 中西僚太郎 人文社会系】 [期末試験]</p>
履修条件	なし
成績評価方法	定期試験により評価する。
授業外における 学習方法	自分の興味のある歴史的事象を講義された視点から考察する。
教材・参考文献	特に指定しない。講義担当者から指示されることがある。
オフィスア ワー・連絡先	木曜 11:30-12:15 nakanishi.ryotaro.fm*u.tsukuba.ac.jp(*を@に置き換える)
履修者へのメッ セージ	事象を様々な観点から捉える習慣を持つことを望みます。

授業科目名	言語の万華鏡 II		
科目番号	1B01061	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	秋 AB 月 2
担当教員	佐々木 勲人		
授業概要	世界規模で画一化が進む現代において言語文化の多様性を意識する意味はかつてないほど大きい。さまざまな言語文化を歴史的・社会的な視点から考察することにより、異文化を尊重し、相違を認め合う視点を涵養する。		
備考	(人文開設) 【受入上限数 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	B		
水準・区分	100 番台・学際的科目		
教育目的	人間の知識・能力の中で最も複雑で根源的であると言われる「言語」を多彩な角度から見渡し、角度によって変化する言語研究の妙を楽しむ。「言語の万華鏡 II」では、言語比較の観点も取り入れ、日頃意識することの少ない日本語の姿を再認識するとともに、多様な言語文化の本質を観取することを目指す。		
到達目標	1. 母語だけでなく母語以外の言語と言語文化についても学び、その多様性と普遍性を認識する。 2. 比較の観点から、言語と言語文化へのアプローチの可能性を探る。 3. 高校までの学習と大学における研究の違いを意識し、自ら問題を探求する姿勢を身につける。		
キーワード	言語文化, 言語比較, 日本語, 英語, ドイツ語, フランス語, ロシア語, 中国語		
各回授業計画	<p>第 1 回【10 月 7 日 (月) 矢澤真人 人文社会系】 [国語辞典と日本語 IME] 日本語の現場を支える二つのツール、国語辞典と日本語変換システムを題材に、ことばの近代化・現代化について考える。</p> <hr/> <p>第 2 回【10 月 18 日 (金)【振替授業日】 大倉浩 人文社会系】 [五十音図と 46 種の仮名] 五十音図と日本語の仮名表記との関係を、現代からさかのぼって考察する。逆さ言葉の実例から、日本語の音の単位のとらえ方を実感し、明治以前の五十音図などを紹介して歴史をたどる。</p> <hr/> <p>第 3 回【10 月 21 日 (月) 住大恭康 人文社会系】 [日独語を使用した発話の特徴] 類似した場面で、あるいは類似した内容に関して発話する場合の、日独語における表現上の差異を比較検討する。</p> <hr/> <p>第 4 回【10 月 28 日 (月) 宮腰幸一 人文社会系】 [日英語比較研究入門] 身近な英語表現を出発点に、対応する日本語表現との比較・対照を交えながら、日英語の興味深い特徴をいくつか紹介し、そこから生まれる言語学の問題とその分析方法を概説する。</p> <hr/> <p>第 5 回【11 月 6 日 (水)【振替授業日】 佐々木勲人 人文社会系】 [中国の言語と文化] 中国は 56 の民族からなる他民族国家である。さまざまな民族が共存していく上で、中国が直面している問題点を言語文化の側面から概説する。</p> <hr/> <p>第 6 回【11 月 18 日 (月) 伊藤 眞 人文社会系】 [日独語慣用表現における言語文化] 日本語とドイツ語にみられる慣用表現を比較し、異なる言語を比較分析する方法論を概説し、両言語の語彙文化に関する相違点を検討する。</p> <hr/> <p>第 7 回【11 月 25 日 (月) 白山利信 人文社会系】 [ロシアの言語文化] 民芸品や食文化を含めてロシア語と日本語の意外な関わりなどについてロシアと日本の文化接触という視点から検討する。</p> <hr/> <p>第 8 回【12 月 2 日 (月) 石田尊 人文社会系】 [標準語の文法と方言の文法] 現代日本語の標準語の文法では見られない特徴が、方言文法には見られる場合がある。日本語文法の内なる多様性について考察する。</p>		

	<p>第9回【12月9日(月) 大矢俊明 文社会系】 [英独対照研究] 英語とドイツ語における「二重目的語構文」にみられる相違を観察し、系統的に近い言語を比較対照する意義を考察する。</p> <hr/> <p>第10回【12月16日(月) 加賀信広 人文社会系】 [日英語の動詞意味論:場所目的語と対象目的語] 日本語の「盗む」に対応する英語の動詞には steal と rob がある。前者は「窃盗」、後者は「強盗」のような理解がなされているが、steal some jewels や rob the bank と言えても、*steal the bank や*rob some jewels とは言えない。さて、それはなぜなのだろうか。</p> <hr/> <p>第11回【12月23日(月) 佐々木勲人 人文社会系】 [期末試験]</p>
履修条件	言語の万華鏡Iも合わせて受講すると、言語に関してより総合的な理解が得られる。
成績評価方法	期末試験(各回の授業内容に対する理解度、授業で紹介された文献を読み、自ら学んだかを含む)の成績により評価する。なお、授業回数の3分の2以上の出席をしていない履修者は成績評価の対象とならない。
授業外における学習方法	毎回の授業で紹介された資料や文献を読み解き、自ら問題を探求する姿勢を身につける。
教材・参考文献	教科書は使用しない。毎回の授業でハンドアウトを配布し、参考文献を紹介する。
オフィスアワー・連絡先	予約により随時 人文社会学系棟 A718 sasaki.yoshihito.gm at u.tsukuba.ac.jp
履修者へのメッセージ	与えられたものだけをこなすという高校までの学習スタイルから脱皮し、自ら問題を探求する姿勢を身につけてください。

授業科目名	古典に学ぼう-日本・中国編-		
科目番号	1B02201	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	春 AB 月 2
担当教員	小松 建男		
授業概要	日本と中国においては文学、思想、歴史などのさまざまな分野で、数多くの典籍がうみだされ、人類に普遍的な「古典」の地位を獲得してきた。現在「古典」として広く認識されている典籍を味読・分析しながら、文化の問題に迫る。併せて、広く一般的教養を身につけることを目指す。		
備考	(比文開設) 西暦奇数年度開講。 【受入上限数 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	B		
水準・区分	100 番台・異分野入門的科目		
教育目的			
到達目標	1 中国と日本の「古典」に親しむ 2 「古典」を通じて人類の叡智を学ぶ 3 文学史・文化史の教養を身につける		
キーワード	文学史, 文化史		
各回授業計画	<p>第 1 回【4 月 15 日 小松建男 人文社会系】 [古典への招待] 中国と日本の「古典」を読み学ぶたのしさについて考える。</p> <hr/> <p>第 2 回【4 月 22 日 平石典子 人文社会系】 世界文学としての西行の歌—翻訳からみえるもの—</p> <hr/> <p>第 3 回【5 月 9 日 (月曜授業実施日) 小松建男 人文社会系】 『三国志演義』を読む。</p> <hr/> <p>第 4 回【5 月 13 日 丸山宏 人文社会系】 中国の道教経典を取り上げ、道教の宗派と経典の関係を概説し、『老子』の本文と宗教的な注釈を講読する。</p> <hr/> <p>第 5 回【5 月 20 日 秋山学 人文社会系】 「お経について」。お経にはどのようなものがあるのか、中心思想は何なのか、諸宗は各々何を依経としているのか、など。</p> <hr/> <p>第 6 回【5 月 27 日 稀代麻也子 人文社会系】 漢と唐の狭間にあつて分裂と混乱を極めた中国の六朝時代に生きた陶淵明の作品を読む。</p> <hr/> <p>第 7 回【6 月 3 日 馬場美佳 人文社会系】 明治の文学者・幸田露伴著「五重塔」に学ぶ自己救済の近代。</p> <hr/> <p>第 8 回【6 月 10 日 吉森佳奈子 人文社会系】 『古事記』・『日本書紀』をよむ。</p> <hr/> <p>第 9 回【6 月 17 日 山澤学 人文社会系】 『弁草子』をはじめとする日光山を舞台とした作品を取り上げ、中世地方寺院における宗教と生活文化のあり方を考える。</p> <hr/> <p>第 10 回【6 月 24 日 徳丸亜木 人文社会系】 復古神道国学者の平田篤胤や津和野派国学者である岡熊臣の著作を通じて、当時の靈魂観や世界観を民俗学的な視点から取り上げる。</p> <hr/> <p>第 11 回【7 月 1 日 小松建男 人文社会系】 [学期末試験] 中国と日本の「古典」に関して得た知識について問う。</p>		
履修条件	「古典」の文字資料を読み、学ぶことに積極的であること。		
成績評価方法	A: 期末試験 (80%) 授業内容を的確に把握していること。到達目標 1・2 を重視、3 をより重視。 B: 出席状況 (20%) 授業に積極的に参加していること。		
授業外における学習方法	授業で取り上げられた作品を、できるだけ通読してみる。		
教材・参考文献	1. 授業時に配布、指示する。		
オフィスアワー・連絡先	木曜 15:15-16:30 人文社会学系棟		

履修者へのメッセージ

古典の世界を楽しみつつ学んでほしい。

授業科目名	宗教から見る現代世界		
科目番号	1B02321	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	秋 AB 月 2
担当教員	木村 武史		
授業概要	今日のグローバル社会は、宗教の意義・役割を抜きにしては十分に理解することはできない。しかも、「宗教」といっても実に多種多様な宗教があり、単純に一つの見方から考えるだけでは、その様々なレベルにおける影響を十分には捉えきることができない。このような観点から、本講義では、現代世界で起きている出来事を「宗教」を通して見る視点を身につけることを目的とする。		
備考	(比文開設) 【受講制限数 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	B:精神、文化、社会、歴史に関わる総合科目		
水準・区分	100 番台・異分野入門的科目		
教育目的	今日のグローバル社会は、宗教の意義・役割を抜きにしては十分に理解することはできない。しかも、「宗教」といっても実に多種多様な宗教があり、単純に一つの見方から考えるだけでは、その様々なレベルにおける影響を十分には捉えきることができない。このような観点から、本講義では、現代世界で起きている出来事を「宗教」を通して見る視点を身につけることを目的とする。		
到達目標	1. 宗教についての基礎知識を身につける。2. 宗教の多角的な視野を身につける。		
キーワード	宗教、現代世界、グローバル世界		
各回授業計画	<p>現代グローバル社会の動向を考えるにあたって宗教についての知識は欠かせなくなってきている。文系・理系関係なく世界で活躍する人は現地の宗教事情に敏感である必要がある。</p> <p>第 1 回 10 月 7 日 木村武史 「科学の時代といわれる現代社会において、なぜ宗教はまだ重要なのであろうか。もしかすると宗教に関する我々の常識には何か間違いがあるのではないであろうか。宗教について考える今日の意義を取り上げてみたい。」</p> <hr/> <p>第 2 回 10 月 18 日 中田元子 「19 世紀イギリスでは、進化論をはじめとする科学的発見や功利主義の浸透によってキリスト教が人々の精神的支柱としての役割を失いつつあった。このような状況のもと、時代を代表する作家チャールズ・ディケンズの作品にはどのような宗教意識があらわれているかをみる。」</p> <hr/> <p>第 3 回 10 月 21 日 加藤百合 「ロシア正教会について。自然信仰とキリスト教の二重信仰、イコンや機密、教会暦と農事暦などを知る。またニコンによる典礼改革以降の旧教徒 (ラスコーリニキ) について、19 世紀以降の状況について述べる。」</p> <hr/> <p>第 4 回 10 月 28 日 吉水千鶴子 「南アジア・内陸アジアにおける政権と宗教の関わりを考察する。事例としてネパールの民主化とヒンドゥー教・仏教が共存する社会、チベット民族とダライ・ラマ亡命政権の関わりを取り上げる。」</p> <hr/> <p>第 5 回 11 月 6 日 津城寛文 「宗教の社会的側面と他界的側面について、モデルを提案し、事例を解説する。」</p> <hr/> <p>第 6 回 11 月 11 日 石塚修 「禅とはなにか。禅は「ZEN」として、今や国際的に関心をもちられている存在である。しかし、現代日本人の多くは、仏教のひとつの宗派である程度の理解しか持ちあわせていないのではなかろうか。茶の湯や武道にも大きな影響を与えた禅とはどのような宗教なのか、その基本的な理解を深める。」</p> <hr/> <p>第 7 回 11 月 18 日 巖 仁 「日本近世の世俗倫理と商人精神。この授業では、江戸時代初期の禅僧の鈴木正三と、中期の神儒仏の三教に基づいて心学を提唱した石田梅岩を取り上げ、近世における世俗倫理と商人精神について述べる。神儒仏 (禅) の宗教思想と商人精神の発揚について考える。」</p> <hr/> <p>第 8 回 11 月 25 日 井川義次 「中国哲学のうちで、現代欧米世界で最もポピュラーなのは老荘思想である。『老子』の英訳は英語で 200 種類をこえるほどである。至高の存在としての「道」は、絶対他者・超越神ではなく草木・瓦石にも内在すると説く。われわれ人間も道の顕現であるとする道家思想について論ずる」</p>		

	<p>第9回 12月2日 佐藤貢悦 「神道、仏教、儒教について、習合という視点から解説する。」</p> <hr/> <p>第10回 12月9日 木村武史 「現代世界の課題と宗教思想の意義について」</p>
履修条件	特になし
成績評価方法	期末試験 (100%)・・・授業内容を的確に把握していること。
授業外における学習方法	授業で出てきた話題を自分でも調べてみることを。
教材・参考文献	特になし
オフィスアワー・連絡先	授業時に指示。
履修者へのメッセージ	宗教を学ぶことの意義を見つけてほしい。

授業科目名	日本とは何か I		
科目番号	1B03011	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	秋 AB 月 2
担当教員	沼田 善子		
授業概要	グローバルゼーションの中で改めて、必要性が強く認識されつつある多文化共生社会創出への取り組みに対して、日本からどのような発信ができるかという問題意識を基に、日本を日本語、日本語教育の側面から考える。		
備考	(日開設) 日本語・日本文化学類生の履修を認めない。 【受入上限数 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	B		
水準・区分	100 番台・異分野入門的科目		
教育目的	グローバルゼーションの中で改めて、必要性が強く認識されつつある多文化共生社会創出への取り組みに対して、日本からどのような発信ができるかという問題意識を基に、日本を日本語、日本語教育の側面から考える。		
到達目標	1 世界の言語における日本語の位置、日本語の歴史と方言、他言語との比較による日本語の特徴、日本語と文化の関係を考えることで、日本語を他言語と相対化して捉える力を培い、日本語をめぐる多様性について考える視点を育てる。 2 日本語を外国語として教える日本語教育というテーマを掘り下げて考えることにより、多文化共生社会に対する現代日本の問題についての知識を獲得し、問題解決に向けて考える態度を養う。		
キーワード	言語類型論、外国語と日本語、日本語教育、国語科教育、日本語の音韻・語彙・文法・表現、方言、在留外国人、やさしい日本語		
各回授業計画	<p>前半 5 回を沼田善子、後半 5 回を山田野絵が担当する。</p> <p>第 1 回【10 月 7 日 沼田善子 人文社会系】 世界の言語の中の日本語 世界の言語の中での日本語の位置づけを様々な角度から考える。</p> <hr/> <p>第 2 回【10 月 18 日 沼田善子 人文社会系】 日本語史と日本語の方言 方言として映し出される日本語の多能性を日本語の歴史との関連で、具体的事例を通して考える。</p> <hr/> <p>第 3 回【10 月 21 日 沼田善子 人文社会系】 日本語の特殊性？ 日本語と中国語・韓国語・英語等の他言語との具体的な比較を通して、日本語の特徴を相対的に捉え直す。</p> <hr/> <p>第 4 回【10 月 28 日 沼田善子 人文社会系】 日本語と日本文化 日本語に反映される日本文化について、具体的な事例から考える</p> <hr/> <p>第 5 回【11 月 6 日 沼田善子 人文社会系】 日本語の教育 国家と言語、国語科教育と日本語教育をめぐり、多文化共生の観点から日本語の教育について考える。</p> <hr/> <p>第 6 回【11 月 18 日 山田野絵 グローバルコミュニケーション教育センター】 海外における日本語教育 海外における日本語教育の現状を把握し、その意義について考える。 国内における日本語教育 1 国内における日本語教育について理解すると共に、在住外国人との共生について考える。</p> <hr/> <p>第 7 回【11 月 25 日 山田野絵 グローバルコミュニケーション教育センター】 国内における日本語教育 2 国内における日本語教育について理解すると共に、在留外国人との共生について考える。</p> <hr/> <p>第 8 回【12 月 2 日 山田野絵 グローバルコミュニケーション教育センター】 日本語の特徴 1「表記・音声」 日本語の表記、音声について理解し、非母語話者が日本語を学習する際の問題点を考える。</p> <hr/> <p>第 9 回【12 月 9 日 山田野絵 グローバルコミュニケーション教育センター】 日本語の特徴 2「文法・社会言語能力」 日本語の文法、社会言語能力について日本語教育の視点で捉え、非母語話者が日本語を学習する際の問題点を考える。</p>		

	<p>第 10 回【12 月 16 日 山田野絵 グローバルコミュニケーション教育センター】 やさしい日本語 共生社会に向けて 今後の日本社会における在住外国人との共生について、「やさしい日本語」の視点から考える。</p> <hr/> <p>第 11 回【12 月 23 日 沼田善子 人文社会系】 [期末試験]</p>
履修条件	日本語・日本文化学類学生の履修を認めない。
成績評価方法	期末試験の結果から判定する。
授業外における 学習方法	授業で紹介した文献を積極的に読むこと。
教材・参考文献	授業時に適宜紹介する。
オフィスア ワー・連絡先	世話人ー鈴木伸隆 suzuki.nobutaka.fn@u.tsukuba.ac.jp
履修者へのメッ セージ	日本や日本語の理解を深めることが、世界や多言語の理解につながることを期待しています。

授業科目名	日本の生活文化		
科目番号	1B03511	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	春 AB 火 2
担当教員	朴 宣美		
授業概要	ジェンダーやマイノリティの視点から、日本の社会と文化を考察・討論する。		
備考	(日開設) 外国人留学生及び帰国生徒に限る。平成 27 年度以前に (7200151) の単位を既に取得している学生は履修不可。 【受入上限数 20 名】		
授業形態	講義		
科目群	B		
水準・区分	100 番台・異分野入門的科目		
教育目的			
到達目標	日本人のジェンダー意識、近年の新しい文化現象、マイノリティ問題について知り、説明できるようになる。		
キーワード	文化現象, ジェンダー意識, マイノリティ問題		
各回授業計画	日本国民の意識調査に関するデータや映像資料・文献資料を用いて、日本人の家族・生活関連意識、ジェンダー意識や問題、近年の文化現象、マイノリティ問題を取り上げる。 第 1 回 [ガイダンス] 第 2 回 日本人の家族観 第 3 回 日本人のジェンダー意識 第 4 回 日本社会における女性への差別や暴力問題 第 5 回 日本社会における新しい文化現象・社会現象 (若者文化、新性別役割分担意識など) 第 6 回 日本社会における新しい文化現象・社会現象 (格差、少子化、非婚化など) 第 7 回 日本におけるマイノリティ問題 (在日朝鮮人社会の形成について) 第 8 回 日本におけるマイノリティ問題 (在日朝鮮人社会が抱える様々な問題について) 第 9 回 受講者発表 第 10 回 まとめ		
履修条件	外国人留学生及び帰国生徒に限る。 平成 27 年度以前に (7200151) の単位を既に取得している学生は履修不可。		
成績評価方法	日常点 (30 点):発表、討論等 学期末レポート (70 点)		
授業外における学習方法	配布資料を事前に読むこと。		
教材・参考文献	1. 渡辺秀樹, 『現代日本の社会意識 家族・子ども・ジェンダー』慶応義塾大学出版会、2005 年 2. 徐京植, 『在日朝鮮人ってどんな人』平凡社、2012 年		
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワーは特に定めませんが、事前連絡をしてから訪問すること。		
履修者へのメッセージ	自分の問題意識を持つこと。積極的に討論すること。		

授業科目名	日本の地域社会見学実習		
科目番号	1B03523	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	秋 AB 集中
担当教員	加藤 晴美		
授業概要	東京都の公設卸売市場であった東京築地市場に隣接して形成されてきた問屋街(場外市場)やその周辺地域を訪れる。築地では、場外市場や築地本願寺などの見学を通して、地域の成り立ちや日本の食文化について学ぶ。そのほか、江戸時代に開発された漁師町である佃島の景観などを見学する。なお、見学コース変更の可能性もあるので留意すること。		
備考	(日開設) 外国人留学生及び帰国生徒に限る。目的地・日程・費用等は CEGLOC と日学類に掲示。人数制限あり。 【受入上限数 30 名】		
授業形態	実習・実験・実技		
科目群	B		
水準・区分	100 番台・学際的科目		
教育目的	インターネットが普及し、一見あらゆる情報が入手可能に思われる現代であっても、地域社会で暮らす人間やその文化を理解するためには「現地訪問」が有意義かつ不可欠であることを学ぶ。		
到達目標	実際にフィールドを訪れ、みずからの観察や体験を通して日本の地域社会における文化の特質を把握する力をつける。		
キーワード	フィールドワーク, 景観, 村落, 都市, 地域社会, 生活文化		
各回授業計画	<p>事前学習(1回):10月16日(水)5限に実施。オリエンテーション及び対象地域の地理・歴史・生活文化、集落景観の特質などをテーマとし、教室で講義を行う。</p> <p>実地見学(4回):日程は掲示するので注意すること。見学の目的地は未定であるが、つくば市内の農村やつくばエクスプレス沿線地域、東京都内を中心とする。著名な施設だけではなく、地域住民が参拝する小さな神社・祠・お堂など日本人の信仰のあり方を示す宗教施設、日本の伝統的な「商店街」や、「豆腐屋」、「魚屋」など伝統食材の店なども見学する。</p> <p>参考(昨年度の実施例)</p> <p>1【つくば市見学】つくば市内の農村地域およびつくば駅周辺を見学する。ここでは農村における民家や田畑の様子、宗教施設などを観察することによって、日本のムラ(農村)における伝統的な景観と暮らしについて学ぶとともに、研究学園都市の建設による地域の変貌について考える。</p> <p>2【東京築地市場・佃島見学】東京都の公設卸売市場であった東京築地市場に隣接して形成された問屋街(場外市場)やその周辺地域を訪れる。築地では、場外市場や築地本願寺などの見学を通して、地域の成り立ちや日本の食文化について学ぶ。そのほか、江戸時代に開発された漁師町である佃島の景観などを見学する。今年度は見学コース変更の可能性あり。</p>		
履修条件	外国人留学生および帰国生徒に限る。 必ず「学生教育研究災害障害保険」へ加入すること。加入しない者は受講を認めない。 交通費・見学入館料・食事代などは自己負担。 履修希望者多数の場合は、人数制限あり。		
成績評価方法	現地での活動(観察・聞き取り力や態度)、レポートを総合して評価。		
授業外における学習方法	対象地域に関する地理情報を予習・復習することが望ましい。		
教材・参考文献	地形図・文献等は、事前学習の際に指示する。		
オフィスアワー・連絡先	授業時に学生へ知らせる。		
履修者へのメッセージ	見学の際には主体的・積極的に取り組むとともに、地域住民や一般の見学者・参詣者の迷惑にならぬよう、十分に注意すること。		

授業科目名	市場と社会		
科目番号	1B04121	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	秋 C 月 1,2
担当教員	平山 朝治		
授業概要	社会を構成する個人の意思決定の集合が「市場」という場を経由してどのように一つのコミュニティの経済を成り立たせているのかを検討する。社会の在り方を経済という視点を通して観察する意義と楽しさを学ぶ。		
備考	(社会開設) 【受入上限数 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	B		
水準・区分	100 番台・学際的科目		
教育目的	経済学は、私たちの生活する社会の仕組みを理解するための一つの方法論である。社会を構成する個人の意思決定が、「市場」という場を介してどのように調整されて、一つの社会の経済を成立させるのかを検討する学問である。また、社会の中の人間関係の在り方と社会の豊かさの向上がいかに結びついているのかを検討する学問でもある。経済学的な社会の見方を身につけることで、社会を見る目が広がることの楽しさを学ぶ。		
到達目標	身近な社会問題を、経済学の観点から、批判的かつ論理的に理解することができるようになること。		
キーワード	交換と貨幣, 経済発展過程, 開発経済学, ゲーム理論, 社会的選択理論		
各回授業計画	第 1 回【1 月 6 日 平山朝治 人文社会系】 交換と貨幣の起源 (1) <hr/> 第 2 回【1 月 6 日 平山朝治 人文社会系】 交換と貨幣の起源 (2) <hr/> 第 3 回【1 月 22 日 高橋秀直 人文社会系】 経済のグローバル化と経済発展過程の分析 (1) <hr/> 第 4 回【1 月 22 日 高橋秀直 人文社会系】 経済のグローバル化と経済発展過程の分析 (2) <hr/> 第 5 回【1 月 27 日 箕輪真理 人文社会系】 開発経済学入門 (1) <hr/> 第 6 回【1 月 27 日 箕輪真理 人文社会系】 開発経済学入門 (2) <hr/> 第 7 回【2 月 3 日 福住多一 人文社会系】 ゲーム理論の応用 (1) <hr/> 第 8 回【2 月 3 日 福住多一 人文社会系】 ゲーム理論の応用 (2) <hr/> 第 9 回【2 月 10 日 篠塚友一 人文社会系】 社会的選択理論入門 <hr/> 第 10 回【2 月 10 日 平山朝治 人文社会系】 日本型市場社会の形成 <hr/> 第 11 回【2 月 14 日 金曜日 第 2 時限 平山朝治 人文社会系】 期末試験		
履修条件	授業の前提として高校程度の基礎的数学の能力・理解力を身につけていることを条件とする。		
成績評価方法	期末試験 2/3 以上の出席を単位取得の必要条件とします。		
授業外における学習方法	授業時に指示された文献や経済用語等についてさらに詳しく復習すること。		
教材・参考文献	授業時に適宜指示する		
オフィスアワー・連絡先	要予約 人文社会学系棟 人社 A306 hirayama.asaji.fu@u.tsukuba.ac.jp		
履修者へのメッセージ	授業中に指名されたり、意見を求められた場合には、積極的に発言することが求められます。		

授業科目名	学校を考える I		
科目番号	1B06011	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	春 AB 月 1
担当教員	唐木 清志, 磯田 正美, 宮澤 優弥		
授業概要	学校の生い立ち、社会とのかかわり、学校を支える仕組みなどに視点を当てて、今日学校が抱える諸問題を整理し、そのいくつかについて検討する。		
備考	(教育開設) 人間学群学生の受講は認めない。講義の一部にディスカッションを取り入れるため、受入れ上限数を 80 名とする。 【受入上限数 80 名】		
授業形態	講義		
科目群	C		
水準・区分	100 番台・学際的科目		
教育目的	本授業では、これまで受けてきた学校教育と自己の被教育経験を相対化し、歴史的、社会的、文化的な視点から学校という事象を眺め、学校の役割について考察することを目的とする。		
到達目標	1 学校を取り巻く問題についての様々な知識を身につける 2 学校を取り巻く問題についての鋭い分析力を身につける 3 学校を取り巻く問題について総合的な考察力を培う		
キーワード	教育制度, 学校経営, 教育方法, 教育課程		
各回授業計画	<p>第 1 回【4 月 15 日 唐木清志 人間系】 [学校の現状] 自分自身の学校生活を振り返りながら、現代の学校の現状を考察する。</p> <hr/> <p>第 2 回【4 月 22 日 唐木清志 人間系】 [理想の学校] 理想の学校はどうあるべきか、グループでの議論を通して一致点を探る。</p> <hr/> <p>第 3 回【5 月 9 日 唐木清志 人間系】 [学校の歴史] 学校の歴史を考察しながら、現代の教育改革の意義を考察する。</p> <hr/> <p>第 4 回【5 月 13 日 唐木清志 人間系】 [さまざまな学校のしくみ] 日本や世界のさまざまな学校を紹介し、学校の多様性を考察する。</p> <hr/> <p>第 5 回【5 月 20 日 磯田正美 人間系】 [学校で育成できる資質能力] 世界の教育改革の動向を探りながら、学校で育成できる資質能力を考察する。</p> <hr/> <p>第 6 回【5 月 27 日 磯田正美 人間系】 [教員に求められる資質能力] 近年の教師教育の議論に目を向け、教師に求められる資質能力を考察する。</p> <hr/> <p>第 7 回【6 月 3 日 磯田正美 人間系】 [授業研究] 学校における授業研究の在り方に触れながら、学校における教師の役割を考察する。</p> <hr/> <p>第 8 回【6 月 10 日 宮澤優弥 人間系】 [授業づくり] 国語科を事例として取り上げて、授業の構造を考察する。</p> <hr/> <p>第 9 回【6 月 17 日 宮澤優弥 人間系】 [授業分析] 国語科を事例として取り上げ、教師による授業分析の方法を考察する。</p> <hr/> <p>第 10 回【6 月 24 日 宮澤優弥 人間系】 [学校と地域の連携] 社会における児童生徒を対象とした教育活動に触れながら、学校と地域の連携を考察する。</p> <hr/> <p>第 11 回【7 月 1 日 宮澤優弥 人間系】 [期末試験]</p>		
履修条件	人間学群学生の受講は認めない。受け入れ上限数を 80 名とする。		
成績評価方法	評価方法 (評価割合) 及び評価基準 A: 試験 (レポート)(70%) B: 授業内提出物 (30%) 到達目標 1: B を「より重視」・A を「重視」 到達目標 2: A を「より重視」・B を「重視」		

授業外における学習方法	受講している様々な講義の内容や新聞・雑誌等における教育に関する言説に関心を持つこと。
教材・参考文献	授業にて適宜、配布する。
オフィスアワー・連絡先	唐木 清志 karaki at human.tsukuba.ac.jp
履修者へのメッセージ	学校についての自分の経験を振り返り、学校教育の現状に問題意識をもつこと。

授業科目名	経済学入門 II		
科目番号	1B17041	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	春 AB 月 2
担当教員	ターンブル スティーヴェン		
授業概要	現代社会では携帯電話から進化した「スマートホン」という万能の携帯端末を持って各種ソーシャルネットワーク(SNS)に参加することが普通になった。SNS は人間関係にどんな影響を与えるか?情報ネットワークはどんな仕組みであるか?ソーシャルネットワークと交通ネットワークと電信ネットワークなど各種ネットワークの共通点と特徴を明らかにし、社会での役割と効果を考察する。		
備考	(社工開設) 【受入上限数 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	B		
水準・区分	100 番台・学際的科目		
教育目的	経済に含まれたあらゆるネットワークの構造と働きを直感的に理解できるようになること		
到達目標	1. ネットワークの経済学の基本的概念・考え方の習得 2. ネットワークの経済学の事例の学習 3. ネットワークの経済学にもとづいて社会・経済現象を理解する力の育成		
キーワード	経済学, 複雑さ, 情報ネットワーク, 人間ネットワーク		
各回授業計画	<p>ネットワークの経済学の基本的概念・考え方を事例をもとに進める。 第 1 回【4 月 15 日 ターンブル・スティーヴェン・ジョン システム情報系】 [あなたもリンクだらけ!] 人間はネットワークの中の存在であり、その多様性と効果を見てみよう</p> <hr/> <p>第 2 回【4 月 22 日 ターンブル・スティーヴェン・ジョン システム情報系】 [ネットワークの経済学と伝統的な経済学の違い] 市場・企業・行政の伝統的な分析の役立つ分野と役立つ分野、ネットワーク外部性</p> <hr/> <p>第 3 回【5 月 9 日 ターンブル・スティーヴェン・ジョン システム情報系】 [シミュレーションと複雑さ] ネットワークの分析にシミュレーション法の有効性、シミュレーション法の特徴</p> <hr/> <p>第 4 回【5 月 13 日 ターンブル・スティーヴェン・ジョン システム情報系】 [ネットワークの統計] ノード、リンク、とパスを数えてネットワークの社会への効果を計る</p> <hr/> <p>第 5 回【5 月 20 日 ターンブル・スティーヴェン・ジョン システム情報系】 [ネットワーク上に流れる「もの」] 交通ネットワーク、ブラエスの逆説、光の速度で流れる電力と電信のネットワーク</p> <hr/> <p>第 6 回【5 月 27 日 ターンブル・スティーヴェン・ジョン システム情報系】 [ネットワーク上に流れる「情報」:第一部] 大規模な情報ネットワーク「インターネット」、ポータル、検索エンジン</p> <hr/> <p>第 7 回【6 月 3 日 ターンブル・スティーヴェン・ジョン システム情報系】 [ネットワーク上に流れる「情報」:第二部] 情報ネットワークのマイクロ分析:IoT、セキュリティー、決済システム</p> <hr/> <p>第 8 回【6 月 10 日 ターンブル・スティーヴェン・ジョン システム情報系】 [実物の世界のソーシャルネットワーク] リンクの強さ、ネットワークの統合と分裂、「飲みニケーション」など</p> <hr/> <p>第 9 回【6 月 17 日 ターンブル・スティーヴェン・ジョン システム情報系】 [バーチャル世界のソーシャルネットワーク] SNS: Facebook、Twitter、LinkedIn、ソーシャルゲーム等</p> <hr/> <p>第 10 回【6 月 24 日 ターンブル・スティーヴェン・ジョン システム情報系】 [情報ネットワーク上のバーチャルコミュニティ] インターネットとバーチャルコミュニティの発展:オープンソースソフトウェア開発</p> <hr/> <p>第 11 回【7 月 1 日 ターンブル・スティーヴェン・ジョン システム情報系】 [期末試験]</p>		
履修条件	特になし		
成績評価方法	課題 (40%), テスト (60%)		

授業外における 学習方法	日頃の行動や意思決定の仕方や関連する新聞記事などに関心を持つこと
教材・参考文献	適宜指示する http://turnbull.sk.tsukuba.ac.jp/Teach/IntroEconII/ を参照
オフィスア ワー・連絡先	ホームページ(スケジュール)に発表
履修者へのメッ セージ	ネットワークの経済学は新しい学問であり、発展途上にあります。ただ、社会の中に置かれた人間の行動を理解する上では面白い発見がされています。また、情報ネットワークにより発生する「ビッグデータ」が社会経済へ大きな影響を与えながら「ビッグビジネス」にもなりつつある。

授業科目名	国際学を学ぶ I		
科目番号	1B05061	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	春 AB 月 2
担当教員	大友 貴史		
授業概要	世界規模で国際社会が変化し、環境問題や人口問題が進行する中、国際社会で生じる諸現象について理解することが求められている。本講義では、グローバルな対応が求められる国際社会の諸課題に対して、人文・社会科学や情報・環境学における様々な視点や方法からアプローチしつつ、今後の国際社会の在り方について理解と考察を深めることを目的とする。		
備考	*国際総合学類生の受講は認めない。 (国際総合学類開設)【受入上限数 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	B		
水準・区分	100 番台・異分野入門の科目		
教育目的	世界規模で国際社会が変化し、環境問題や人口問題が進行する中、国際社会で生じる諸現象について理解することが求められている。本講義では、グローバルな対応が求められる国際社会の諸課題に対して、人文・社会科学や情報・環境学における様々な視点や方法からアプローチしつつ、国際政治・国際法、経済学、文化・社会開発、情報・環境に関する知識を基に、今後の国際社会の在り方について理解と考察を深めることを目的とする。		
到達目標	1. 国際社会における諸問題に対する意識を深めることができる。 2. 国際社会の問題解決のために、国際政治・国際法、経済学、文化・社会開発、情報・環境などの分野において、どのような取り組みが実施されているかを理解することができる。 3. 今後のより良い国際社会の構築に向けて、何が必要とされているかを自分で考える能力を養うことができる。		
キーワード	国際学		
各回授業計画	<p>第 1 回【4 月 15 日 大友貴史 人文社会系】 講義名: 国際政治学から見る国際社会 (1)(国際政治・国際法分野) 講義内容:国際政治を理解する上で重要となる国際政治学の基礎的な概念について学ぶ。</p> <hr/> <p>第 2 回【4 月 22 日 大友貴史 人文社会系】 講義名: 国際政治学から見る国際社会 (2)(国際政治・国際法分野) 講義内容:国際政治において大国が及ぼす影響を、アメリカ等の事例を中心に検討する。</p> <hr/> <p>第 3 回【5 月 9 日 (木) 振替 茅根由佳 人文社会系】 講義名: 東南アジア政治 (1) (国際政治・国際法分野) 講義内容:本講義はインドネシアを中心に、東南アジア政治を検討するにあたって重要な時代毎の争点について知識を深める。独立後の東南アジア諸国において誕生した開発独裁について検討する。</p> <hr/> <p>第 4 回【5 月 13 日 茅根由佳 人文社会系】 [講義名: 東南アジア政治 (2) (国際政治・国際法分野)] 講義内容:本講義はインドネシアを中心に、東南アジア政治を検討するにあたって重要な時代毎の争点について知識を深める。今日の東南アジア諸国が抱える民主主義の課題について検討する。</p> <hr/> <p>第 5 回【5 月 20 日 Yu Zhengfei 人文社会系】 [講義名: 社会科学における因果推論 (経済学分野)] 講義内容: Most researches in economics focus on questions of cause and effect, such as the effect of class size on students' test score, or the effect of college education on earnings. This lecture introduces basic knowledge of causal inference in social science. It also provides examples of using randomized experiments to study casual effects in economics. (英語で授業)</p> <hr/> <p>第 6 回【5 月 27 日 Yu Zhengfei 人文社会系】 [講義名: 自然実験 (経済学分野)] 講義内容:When the randomized experiment is not feasible, institutional or geographical factors in observational studies sometimes create a scenario that resembles a randomized experiment. This so-called natural experiment has been increasingly popular in social science researches. This lecture provides examples of natural experiments in economics. (英語で授業)</p>		

	<p>第7回【6月3日 松島みどり 人文社会系】 [講義名: 人間開発論・潜在能力アプローチと社会開発 (文化・社会開発分野)] 講義内容: 国際開発の現場において、戦後の経済成長を主眼においた開発政策から、人々の厚生をより包括的に考える「社会開発」が次第に重要視されるようになってきた。本授業では、社会開発を理解する上で特に重要となる人間開発論と潜在能力アプローチについて学ぶ。</p> <hr/> <p>第8回【6月10日 松島みどり 人文社会系】 [講義名: 持続可能な開発 (文化・社会開発分野)] 講義内容: 持続可能な開発とは何か。経済、環境、社会、そしてガバナンスといった側面から持続可能な開発を議論し、将来の世代の欲求を満たしつつ、現在の世代の欲求も満足させるような開発とはどうあるべきかを考える。また、文化や人々の精神的な充足と持続可能な開発についても学ぶ。</p> <hr/> <p>第9回【6月17日 奥島真一郎 システム情報系】 [講義名: 環境と経済 (1)(情報・環境分野)] 講義内容: マルサス「人口論」、ローマクラブ「成長の限界」をもとに、人口、経済、環境の相互関係について考える。</p> <hr/> <p>第10回【6月24日 奥島真一郎 システム情報系】 [講義名: 環境と経済 (2)(情報・環境分野)] 講義内容: マルサス「人口論」、ローマクラブ「成長の限界」をもとに、「持続可能な発展」について考える。</p> <hr/> <p>第11回【7月1日 大友貴史 人文社会系】 期末試験</p>
履修条件	なし。 *国際総合学類生の受講は認めない。
成績評価方法	評価方法 (評価割合) 及び評価基準 学期末試験 (持込不可)
授業外における学習方法	必要に応じて指示する。
教材・参考文献	各講義担当者が授業中に個別に指示する。
オフィスアワー・連絡先	Email にて連絡 大友貴史 ohtomo.takafumi.gf@u.tsukuba.ac.jp
履修者へのメッセージ	さまざまな学問的アプローチに対する知的好奇心をもって受講してください。

授業科目名	知的財産のしくみ (著作編)		
科目番号	1B20011	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	春 AB 月 1
担当教員	村井 麻衣子, 三波 千穂美, 芳鐘 冬樹		
授業概要	ニュートンが「私は巨人の肩に乗って仕事をした」と言ったように、大発見や科学の進歩は、それまでに蓄積された膨大な知識の上に築かれる。新しい科学的知識は、まず学術雑誌等に論文として発表される。この意味で、学術論文は科学の発展を支える知的財産であり、研究者は価値のある論文を人よりも早く出すことにしのぎを削る。本科目では、研究者が論文を発表し、それが利用され、社会に認定・評価される仕組みについて学ぶ。		
備考	(知識開設) 【受入上限数 150 名】		
授業形態	講義		
科目群	B		
水準・区分	100 番台・異分野入門的科目		
教育目的	研究者はどのようなルールに基づいて活動しているのか、そこでやってよいことといけないことについて学ぶ。 科学的知識の生産プロセスとしての研究活動はいかなるものかを明らかにし、どのような過程をへて論文として公表されるかを学んだあと、科学的知識を蓄積し、そこから適切なものを探し出して活用する手法について学ぶ。 特に、科学的知識の生産・管理に深く関わる著作権と研究倫理を科学的知識との関連で学ぶ。		
到達目標	1 科学的知識の成り立ちや、科学的知識の生産者である研究者の行動原理を理解する 2 著作権に関して、他人の権利を侵害しない最低限のルールを身につける 3 学習した事項を将来の研究活動、社会生活に役立てられるようにする		
キーワード	科学的知識, 学術論文, 出版, 著作権, 研究倫理, 研究ネットワーク, Intellectual-Property, Scholarly-Works, Open Science		
各回授業計画	<p>第 1 回【 4 月 15 日 芳鐘 冬樹 図書館情報メディア系 】 [知的財産である著作をめぐる世界を概観する] 講義の概要について説明する</p> <hr/> <p>第 2 回【 4 月 22 日 三波 千穂美 図書館情報メディア系 】 [レポート vs 論文] レポートと論文の違い、論文の構成を学ぶ</p> <hr/> <p>第 3 回【 5 月 9 日 三波 千穂美 図書館情報メディア系 】 [学術論文とは] 研究の過程、論文作成の過程、論文が公表されるまでの過程、オープンアクセス、ハゲタカ出版、研究における不正行為について学ぶ</p> <hr/> <p>第 4 回【 5 月 13 日 谷藤 幹子 物質・材料研究機構 科学情報室 】 [科学と論文] 科学—研究—論文の科学の成り立ちを通して、論文が果たす役割から、ネット社会における研究環境の変化を概観し、オープンサイエンスという新たな研究概念を学ぶ</p> <hr/> <p>第 5 回【 5 月 20 日 谷藤 幹子 物質・材料研究機構 科学情報室 】 [電子出版著作権制度の概要] 紙からインターネットまで、出版の媒体は多様化し、技術も大きく進歩する中、書籍から論文までの電子出版入門を学ぶ</p> <hr/> <p>第 6 回【 5 月 27 日 谷藤 幹子 物質・材料研究機構 科学情報室 】 [ネット社会における論文出版最前線] YouTube や動画ジャーナルなど、科学論文は動的なコンテンツとしても機能を持つようになった。論文価値観の変容、クリエイティブコモンズといった新しい著作権利の運用とオープンデータについて学ぶ</p> <hr/> <p>第 7 回【 6 月 3 日 村井 麻衣子 図書館情報メディア系 】 [著作権制度の概要] 研究倫理と著作権法上の規律の差異を踏まえつつ、研究を行う際に知っておくべき著作権制度の基礎を概観する</p> <hr/> <p>第 8 回【 6 月 10 日 村井 麻衣子 図書館情報メディア系 】 [科学的知識と著作権] 論文作成にあたって著作権法上留意すべき点 (引用の要件など) や、身近な著作物の利用に際して気をつけること (インターネット上の著作権侵害など) を学ぶ</p>		

	<p>第9回【6月17日 芳鐘 冬樹 図書館情報メディア系】 [論文生産と評価] 論文生産の計量的評価を中心に、論文の流通、蓄積、提供、利用まで含めた評価に関わる問題の全体像を学ぶ</p> <hr/> <p>第10回【6月24日 芳鐘 冬樹 図書館情報メディア系】 [研究のネットワーク] 共著関係や引用関係から分かる研究者のつながりなど、論文データベース (Citation Index など) からの知識発見について学ぶ</p> <hr/> <p>第11回【7月1日】 予備</p>
履修条件	学習意欲があること
成績評価方法	授業時の小テストやレポート:それぞれの担当者が、授業時に提示した評価基準により評価する。その後、それらを総合し最終成績とする。 欠席者に対する特別な配慮はしない。
授業外における学習方法	論文などの科学的知識にふれる際、授業で習った観点を考えてみる。 指定された文献を読む。
教材・参考文献	必要に応じてプリントを配布する。参考文献は講義で紹介する。
オフィスアワー・連絡先	
履修者へのメッセージ	No Message

授業科目名	こころの構造と病理		
科目番号	1B21201	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	春 AB 月 2
担当教員	斎藤 環		
授業概要	心の病から精神の構造を解き明かす精神病理学と精神分析、および天才の創造の秘密を探る病跡学に関する講義。		
備考	(医学開設) 【受入上限数 350 名】		
授業形態	講義		
科目群	B		
水準・区分	100 番台・異分野入門的科目		
教育目的	精神医学はさまざまな理論と方法論が雑居する「人間の科学」であり、その領域も広範囲に及んでいる。「病」の側から眺めるとき、「心」は日常とは異なった相貌を垣間見せてくれるだろう。この講義では、精神医学における複数の理論的な枠組みを紹介しつつ、「心」について考えることの難しさと楽しさを学ぶ。自分とは無関係な他者ではなく、自分の中にも潜在する他者としての「病」を理解することを目指す。		
到達目標	1 精神疾患についての理解と「自らも罹りうる病」という視点からの寛容性と倫理性の獲得。 2 精神医学における複数の考え方とその相互関係を学ぶ。 3 メンタルヘルスの問題についての基本的な対応と考え方を学ぶ。		
キーワード	精神分析, 精神病理学, システム論, 病跡学, 芸術療法, ひきこもり, トラウマ, 自傷, 依存症, コミュニティケア		
各回授業計画	<p>第 1 回【4 月 15 日 斎藤 環 医学医療系 社会精神保健学】 [精神分析とジェンダー] 精神分析の基本的な考え方について学び、男女の性差 (ジェンダー) について精神分析的視点から理解する。</p> <hr/> <p>第 2 回【4 月 22 日 斎藤 環 医学医療系 社会精神保健学】 [精神病理学とは何か] 統合失調症やうつ病などの心理メカニズムを学びながら、精神病理学の基礎的な理論を理解する。</p> <hr/> <p>第 3 回【5 月 9 日 (振替授業日) 斎藤 環 医学医療系 社会精神保健学】 [病跡学と芸術療法] さまざまな分野の天才における精神疾患と「表現」の関係性を理解し、その治療的な応用法を紹介する。</p> <hr/> <p>第 4 回【5 月 13 日 斎藤 環 医学医療系】 [精神医学と脳科学] 「脳」と「心」は切り離すことはできないが、まったく同じものでもない。精神薬理や遺伝学を通じてその関係を理解する。</p> <hr/> <p>第 5 回【5 月 20 日 斎藤 環 医学医療系 社会精神保健学】 [思春期・青年期のメンタルヘルス] 不登校、ひきこもり、若年性のうつ病、人格障害、発達障害など、若い世代のメンタルヘルスについて理解する。</p> <hr/> <p>第 6 回【5 月 27 日 斎藤 環 医学医療系 社会精神保健学】 [震災とトラウマ] 大きな天災が起こると、そのショックや喪失体験から、PTSD やうつ病などの問題が生じる。東日本大震災を中心に、被災者のメンタルヘルスについて理解する。</p> <hr/> <p>第 7 回【6 月 3 日 斎藤 環 医学医療系 社会精神保健学】 [自傷と自殺] 似ているようで異なる自傷と自殺の心理を理解し、どのような働きかけが予防的であるかを知る。</p> <hr/> <p>第 8 回【6 月 10 日 斎藤 環 医学医療系 社会精神保健学】 [精神療法入門] 森田療法から認知行動療法まで、さまざまなタイプの精神療法について知り、「心」を支えるための基本的考え方を学ぶ。</p>		

	<p>第9回【6月17日】 休講</p> <hr/> <p>第10回【6月24日 斎藤 環 医学医療系 社会精神保健学】 [発達障害とは何か] 「発達障害バブル」とも言われる昨今、発達障害への正しい理を促すとともに、バブルの社会文化的背景をさぐる。</p> <hr/> <p>第11回【7月1日 斎藤 環 医学医療系 社会精神保健学】 [コミュニティとメンタルヘルス] 施設収容型からコミュニティケアへと移行しつつある精神医療の現場を、ケアのモデルについて理解する。</p>
履修条件	なし
成績評価方法	レポート
授業外における学習方法	この領域で関心を持った入門書を一冊以上通読する。
教材・参考文献	斎藤環『生き延びるためのラカン』(ちくま文庫) その他は授業にて随時紹介する。
オフィスアワー・連絡先	火曜日午後 総合研究棟 D 720 号室 内線 3099 tamaki@md.tsukuba.ac.jp
履修者へのメッセージ	少しでも興味を持ったら関連書籍や文献を読み、メールでも直接でも遠慮なく質問をしてください。

授業科目名	経営の科学 I		
科目番号	1B17031	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	春 AB 月 2
担当教員	生稲 史彦, 有馬 澄佳, 近藤 文代		
授業概要	企業が製品やサービスを最終消費者に提供するためにやっている活動を説明するための概念と枠組みを理解し、実際の企業活動の妥当性を評価できるようになることを目指します。		
備考	(社工開設) 【受入上限数 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	B		
水準・区分	100 番台・学際的科目		
教育目的	日常的に接する製品やサービスの背後のある企業活動に関心を持ち、自らの視点で読み解く力を養う。		
到達目標	企業が製品やサービスを最終消費者に提供するためにやっている活動を説明するための概念と枠組みを理解し、実際の企業活動の妥当性を評価できるようになることを目指します。		
キーワード	経営, マーケティング, POS, 生産・品質管理, オペレーション・マネジメント		
各回授業計画	<p>最初の 3 回で概要説明をした後、4 回目から 6 回目がマーケティング、7 回目から 9 回目がオペレーション・マネジメントの基礎的知識を紹介します。</p> <p>第 1 回【4 月 15 日 生稲史彦 システム情報系】 経営の科学概論 経営を科学するとはいかなることか、講義全体の見取り図を示します。</p> <hr/> <p>第 2 回【4 月 22 日 生稲史彦 システム情報系】 戦略、戦術、オペレーション 企業もしくは事業の中長期的計画である戦略が、いかにして具体的な企業の取り組みである戦術に落とし込まれ、さらに現場でのオペレーションに結び付いているのかを考えます。</p> <hr/> <p>第 3 回【5 月 9 日 生稲史彦 システム情報系】 マーケティング戦略概論 4 つの P とセグメンテーションについて説明します。</p> <hr/> <p>第 4 回【5 月 13 日 生稲史彦 システム情報系】 オペレーション・マネジメント概論 企業が製品やサービスを提供するために、工場を中心とした現場で行っているマネジメントの概要を説明します。</p> <hr/> <p>第 5 回【5 月 20 日 近藤文代 システム情報系】 情報サービスとマーケティングの話 小売店に設置されている POS システムに関してアメリカと日本での歴史を説明します。</p> <hr/> <p>第 6 回【5 月 27 日 近藤文代 システム情報系】 情報サービスとマーケティングの話 POS 情報サービスの概要とそれをを用いたマーケティング実践の例を説明します。</p> <hr/> <p>第 7 回【6 月 3 日 近藤文代 システム情報系】 情報サービスとマーケティングの話 携帯電話をチャネルとしたモバイル情報サービスの概要とそれをを用いたマーケティングに関する説明をおこないます。</p> <hr/> <p>第 8 回【6 月 10 日 有馬澄佳 システム情報系】 生産・品質管理システム 企業における生産管理と品質管理の概論と、品質管理の基本的手法を説明します。</p> <hr/> <p>第 9 回【6 月 17 日 有馬澄佳 システム情報系】 生産・品質管理システム 企業における生産管理で用いられる主な手法と情報システムを概説します。</p> <hr/> <p>第 10 回【6 月 24 日 有馬澄佳 システム情報系】 生産・品質管理システム サプライチェーン・マネジメントの歴史と要点を説明し、主論点を議論します。</p>		
履修条件	経営学、マーケティング、オペレーション・マネジメントに関する興味関心を持っていること。		
成績評価方法	期末に、試験もしくはレポートに基づいて評価を行う。		
授業外における学習方法	授業で学習したことについての復習を怠らないこと。		

教材・参考文献	第1回、第5回、第8回の講義で紹介する。 1. 沼上幹,(2008)『わかりやすいマーケティング戦略』有斐閣.
オフィス ワー・連絡先	第1回、第4回、第7回の講義で告知する。 生稲 史彦 有馬 澄佳 近藤 文代 kondo at shako.sk.tsukuba.ac.jp
履修者へのメッ セージ	

授業科目名	スポーツ技術を人文社会科学から考える		
科目番号	1B24051	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	秋 AB 月 1
担当教員	成瀬 和弥		
授業概要	スポーツの技術について、技術とは何か、ドーピングと倫理、スポーツとルール、スポーツの文化史、スポーツの学び方・教え方、スポーツと心理、日本人の技術観など、人文社会学的側面からアプローチする。		
備考	(体育開設) 【受入上限数 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	B		
水準・区分	100 番台・異分野入門的科目		
教育目的	スポーツに関して多角的にとらえることができる素養を養う。		
到達目標	1 スポーツの技術を人文・社会科学的な視点から捉え、関連づけて説明することができる。		
キーワード	スポーツ技術, ルール, 哲学・倫理, 文化史, 心理, 学び方		
各回授業計画	<p>第 1 回 10 月 7 日 (月) 成瀬 和弥 体育系 「オリエンテーション」 本授業を受講するにあたっての心構えや授業概要について説明する。</p> <hr/> <p>第 2 回 10 月 18 日 (金) 深澤 浩洋 体育系 「スポーツ技術の哲学」 「スポーツの技術とは何か」について、スポーツにおける「技」、スポーツ技能などとの関わりにおいて、哲学的な立場から考える。</p> <hr/> <p>第 3 回 10 月 21 日 (月) 坂本 拓弥 体育系 「フェアプレーとルール」 フェアプレーとは何か。ルールの範囲内でプレーしていれば、フェアプレーといえるのか。戦術との関係についても考察する。</p> <hr/> <p>第 4 回 10 月 28 日 (月) 仲澤 眞 体育系 「スポーツの文化と技術」 スポーツ文化の構成要素を理解し、スポーツ技術のスポーツ文化に果たす役割について、スポーツ観、スポーツ規範、スポーツ用具等との関係から考える。</p> <hr/> <p>第 5 回 11 月 6 日 (水) 國部 雅大 体育系 「スポーツ技術と視覚」 スポーツが「うまい」人は一体どこを見ている (見えている) のか。心理学的な視点から、スポーツ熟練者の要素を解き明かす。</p> <hr/> <p>第 6 回 11 月 18 日 (月) 中村 剛 体育系 「スポーツ技術のコツとカン」 技術を習得する際の「コツ」や「カン」とは何か。また、そのような「コツ」や「カン」は、その人独自のものなのか。運動学の立場から考える。</p> <hr/> <p>第 7 回 11 月 25 日 (月) 大石 純子 体育系 「武道の技術観」 日本の武道は特有の技術観を有しているが、これを映像を介して理解し、国際社会における日本人のアイデンティティーについて考える。</p> <hr/> <p>第 8 回 12 月 2 日 (月) 齊藤まゆみ 体育系 「アダプテッド・スポーツと技術」 スポーツをする「人」にあわせて、ルールや用具の工夫・変更が行われるアダプテッド・スポーツと技術について考える。</p> <hr/> <p>第 9 回 12 月 9 日 (月) 大林 太郎 体育系 「スポーツ技術史」 明治時代の走り方と現代の走り方はどのように違うのか (もしくは一緒なのか)。また映像がない中で、どのように当時の技術を知ることができるのか。</p> <hr/> <p>第 10 回 12 月 16 日 (月) 真田 久 体育系 「古代オリンピックの技術」 古代オリンピックで行われていた競技は、どのようなルールのもとで、どのような技術が駆使されていたのか。現代のスポーツとの類似点や相違点はあるのか。</p>		

履修条件	なし
成績評価方法	A:期末試験(レポート)50% B:授業内課題 50%
授業外における学習方法	スポーツに関する情報に積極的に関与すること。
教材・参考文献	1. 教科書は指定しないが、各講義の先生から参考文献が紹介される。なお、「序説運動学」(大修館書店)、「スポーツの技術史」(大修館書店)、「スポーツの技術トレーニング」(大修館書店)、「マイネル・スポーツ運動学」,「スポーツの技術のトレーニング」(大修館書店)等が参考となる。
オフィスアワー・連絡先	木曜日 2 時限目 naruse.kazuya.gu at u.tsukuba.ac.jp
履修者へのメッセージ	スポーツに知的関心を持ち,各学問分野との関わりについて広く理解して欲しい。

授業科目名	オリンピック		
科目番号	1B24071	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	秋 AB 月 2
担当教員	嵯峨 寿, 真田 久		
授業概要	1896 年に始まった近代オリンピックは、2020 年東京大会で 32 回を数える。近代オリンピックの歴史において語り継がれるに値する素晴らしい大会にしたいとの思いは多くの日本人に共通する願望だろうが、その実現のために私たちにできることは、まず、オリンピックについてその本質を理解すること。そうすれば東京オリンピックの問題点が把握できるであろうし、改革のアイデアを構想できるかもしれない。		
備考	(体育開設) 【受入上限数 150 名】		
授業形態	講義		
科目群	B		
水準・区分	100 番台・学際的科目		
教育目的	メダル獲得とそれに向けた強化策、大会の準備状況などはニュースに任せ、この授業では、オリンピックの理念であるオリンピズム、オリンピック競技大会を頂点とするオリンピック・ムーブメント、そして、大会遺産の形成をめざすオリンピック・レガシーといったオリンピックに関わる最も基本的な概念について様々な角度から理解を深めるようにする。		
到達目標	1 オリンピズムについて理解し、その本質を説明できるようになる。 2 オリンピック・ムーブメントとオリンピック競技大会の関係を理解し、説明できるようになる。 3 オリンピック・レガシーとは何かを理解し、2020 年東京大会のレガシーのあり方について意見が述べられるようになる。		
キーワード	オリンピズム, オリンピック・ムーブメント, オリンピック・レガシー		
各回授業計画	<p>第 1 回【10 月 7 日 嵯峨 寿 体育系】 [オリエンテーション] 本科目の今年度のねらいや学習課題、成績評価の方法などを確認し、これからの講義に対する意欲と関心を喚起する。</p> <hr/> <p>第 2 回【10 月 18 日 非常勤講師】 [近代オリンピックの提唱者 ビエール・ド・クーベルタン] クーベルタンはどのように呼びかけ、オリンピックの開催にまで漕ぎ着けることができたのか。決して平坦ではなかった理想実現までの足跡を追ってみたい。</p> <hr/> <p>第 3 回【10 月 21 日 真田 久 体育系】 [日本のオリンピック参加と嘉納治五郎] NHK 放送の「いだてん」では十分に語られなかった、第 3 回ストックホルム大会 (1912 年) への参加からその後までの関係者の軌跡をあらためて辿ってみたい。</p> <hr/> <p>第 4 回【10 月 28 日 嵯峨 寿 体育系】 [オリンピック・ボイコット] 経済制裁という国際政治手段があるように、スポーツを利用した対国家制裁が採られ効力を発揮する例を、オリンピックとラグビーにみてみよう。</p> <hr/> <p>第 5 回【11 月 6 日 調整中】 [オリンピックとスポーツ政策] オリンピックがその開催国のスポーツの発展や振興に寄与するようにと開催決定から様々なスポーツ政策が施行・実施される。どんな成果が上がっているのだろう。</p> <hr/> <p>第 6 回【11 月 18 日 調整中】 [オリンピックと芸術] かつてオリンピックで行われていた芸術競技とはどのようなものだったのか、現在はどうなっているのだろう。オリンピックが芸術や文化をいかに重視しているかに触れよう。</p> <hr/> <p>第 7 回【11 月 25 日 大林 太朗 体育系】 [オリンピックと教育] 芸術や文化に並んでオリンピックは教育的側面を重視しているが、それは具体的にはどのように展開されているのか、日本の内外、今昔の取り組みを紹介する。</p> <hr/> <p>第 8 回【12 月 2 日 嵯峨 寿 体育系】 [オリンピックとビジネス] 規模の巨大化に伴うオリンピックの開催経費はどのようにして調達されるのか、スポンサーとなる企業のメリットとは何か。商業主義と批判される所以を知ろう。</p>		

	<p>第9回【12月9日 非常勤講師】 [オリンピックと国際情勢] 国連を超える参加国数を誇るオリンピックは国際情勢の影響を受け、政治や外交にも利用されてきたが、こうした一連の事態は何を意味しているのだろうか。</p> <hr/> <p>第10回【12月16日 真田 久 体育系】 [オリンピックの歴史とレガシー] 1200年続いた古代オリンピックとはどのようなものだったか。近代オリンピックの存続と発展にはどんな課題の解決が求められているのか。</p> <hr/> <p>第11回【12月23日 期末試験 嵯峨 寿 体育系】 期末試験を行う。</p>
履修条件	大学にふさわしい教育環境を維持するため、No-KIDS(授業中におけるK携帯スマホいじり、I飲食、D惰眠、S私語はしない!)を誓い、最後まで守り通す覚悟がある者に限る。
成績評価方法	出席票裏面アクションペーパー(毎時):5点×10回 優5点、良4、可3、並2、劣1、不可0点(50%) 期末試験もしくはレポート:各目標への到達度、および講義の理解度を測る選択肢問題、論述問題による試験(50%)
授業外における学習方法	予習として、オリンピック関連のニュースに積極的にアクセスし、特に東京オリンピック・パラリンピックを巡る動向や問題をフォローし、復習としては、授業で得た情報や知識のほかに新たな関心、芽生えた疑問などを積極的に友人、家族などに話してみよう。
教材・参考文献	教科書は特に指定しない。参考文献は各授業において講師が紹介する。
オフィスアワー・連絡先	嵯峨 寿 saga@taiiku.tsukuba.ac.jp 真田 久 オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること sanada.hisashi.fw@u.tsukuba.ac.jp
履修者へのメッセージ	オリンピックをこれほど詳しく学べる大学は世界でも稀です。スポーツという文化をより深く理解しましょう。

授業科目名	デザインと社会		
科目番号	1B25031	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	秋 AB 月 2
担当教員	五十嵐 浩也		
授業概要	デザインに何が出来るのか? 社会との関わりについてデザインの可能性を探る。プロダクト、情報デザインの視点から授業を行う。		
備考	(芸術開設) 芸術専門学群学生の受講は認めない。 【受入上限数 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	B		
水準・区分	100 番台・異分野入門的科目		
教育目的	日用品のデザインから宇宙におけるデザインまで、我々の周りにおけるデザインと、社会の関係を広く理解し、かつ日常の性格の中でのデザインに関心を持つことを目的としている。		
到達目標	1 社会、特に国際社会における情報・プロダクトデザインの働きを理解する。 2 現代の生活におけるデザインの役割、責任について理解を深める。 3 身の回りのデザインについての興味、関心を高める。		
キーワード	情報、プロダクト、デザイン、感性		
各回授業計画	<p>本講義は、芸術専門学群情報・プロダクトデザインの担当教員によるオムニバス講座である。</p> <p>第 1 回【10 月 7 日 五十嵐浩也 芸術系】 [オリエンテーション・プロダクトデザインの地平] 情報・プロダクトデザインについて概説する。</p> <hr/> <p>第 2 回【10 月 18 日 (振替授業日) 五十嵐浩也 芸術系】 [プロダクトデザインと社会] プロダクトデザイン画変えてきた社会について具体例をもとに紹介する。</p> <hr/> <p>第 3 回【10 月 21 日 木村浩 芸術系】 [情報デザインと社会 1] 情報デザインとは何か、情報デザインの歴史とともに、社会に与えてきた変化について概説する。</p> <hr/> <p>第 4 回【10 月 28 日 木村浩 芸術系】 [情報デザインと社会 2] 情報デザインについて、WEB の果たしてきた役割について解説する。</p> <hr/> <p>第 5 回【11 月 6 日 内山俊朗 芸術系】 [情報画変えてゆく社会] 情報デザインにおける情報とプロダクトの関わり方と社会の変化について概説する。</p> <hr/> <p>第 6 回【11 月 18 日 内山俊朗 芸術系】 [情報化社会におけるデザイン] ロボット等、情報を操るプロダクトについて解説する。</p> <hr/> <p>第 7 回【11 月 25 日 李 昇姫 芸術系】 [情報・感性デザインと社会 1] 情報デザイン、プロダクトデザインによって生み出されてきたモノと人間の感性の関わりについて概説する。</p> <hr/> <p>第 8 回【12 月 2 日 李 昇姫 芸術系】 [情報・感性デザインと社会 2] 人間の感性、情報デザインを海外の研究を紹介しながら解説する。</p> <hr/> <p>第 9 回【12 月 9 日 山中敏正 芸術系】 [感性が変えてゆく社会] 感性が社会に与えてゆく変化について概説する。</p> <hr/> <p>第 10 回【12 月 16 日 山中敏正 芸術系】 [感性デザインとは] 感性デザインとは何か、研究や事例に基いて解説する。</p> <hr/> <p>第 11 回【12 月 23 日 五十嵐浩也 芸術系】 [期末試験]</p>		
履修条件	芸術専門学群生以外		
成績評価方法	1 出席、試験 2 出席は欠格条件、試験 100% 3 出席は 2/3、試験は 60 点以上とする		
授業外における学習方法	授業で取り上げたデザインの対象や問題について、身近な生活環境において確認するなど、日常の活動に対して問題意識を深めること。		

教材・参考文献	1. 必要に応じて、授業中に紹介する。
オフィスアワー・連絡先	特に定めないが、事前連絡をしてから訪問すること。 五十嵐浩也 igara@kansei.tsukuba.ac.jp
履修者へのメッセージ	なし

授業科目名	日本の芸術とその鑑賞		
科目番号	1B25511	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	春 A 火 5,6
担当教員	上北 恭史		
授業概要	日本の歴史的な生活様式、宗教、都市にかかわる芸術を通して、日本の芸術の特色を解説する。		
備考	(芸術開設) 外国人留学生及び帰国生徒に限る。【受入上限数 20 名】		
授業形態	講義		
科目群	B		
水準・区分	100 番台・学際的科目		
教育目的	日本の生活を形成してきた芸術的所産として、歴史的建築物や都市の形成、宗教や伝統芸能について講述し、日本の芸術の特色について解説する。		
到達目標	日本の歴史的な都市の京都や奈良を訪れたとき、歴史的建築物や仏像などを自ら鑑賞して理解していく能力を獲得する。また大陸の文化の交流を通して日本に形成されてきた芸術の背景を理解し、伝統文化や芸術活動の特色について分析していく視点を身につける。		
キーワード	歴史的建造物, 歴史的都市, 仏教文化, 伝統芸能		
各回授業計画	<p>第 1 回【4 月 16 日 上北恭史 芸術系】 [日本の木造建築の特徴]</p> <hr/> <p>第 2 回【4 月 16 日 上北恭史 芸術系】 [日本の近代建築と現代建築への流れ]</p> <hr/> <p>第 3 回【4 月 23 日 上北恭史 芸術系】 [フィールドワーク 古民家の見学] つくば市中央公園のさくら民家園に保存されている旧吉田家住宅の見学を行い、北関東地方に残る民家の特徴について理解する。</p> <hr/> <p>第 4 回【4 月 23 日 上北恭史 芸術系】 [フィールドワーク 現代建築の見方] つくばセンター周辺に建つ建築物を中心に、現代建築の特徴について説明する。</p> <hr/> <p>第 5 回【5 月 7 日 上北恭史 芸術系】 [大陸からの文化の流入と日本の古都の形成] 縄文時代から弥生時代にかけて形成されてきた定住による日本の生活文化の基本を概括し、大陸から伝えられた建築技術によって作られた古都平安京について説明する。</p> <hr/> <p>第 6 回【5 月 7 日 上北恭介 芸術系】 [仏教文化の伝播、仏像の種類とみかた] 大陸から伝えられた仏教文化により建設された寺院や伽藍について説明し、天平時代から平安時代にかけて作られた仏像の特徴について説明し、仏像の鑑賞方法について理解する。</p> <hr/> <p>第 7 回【5 月 14 日 上北恭史 芸術系】 [和様建築の発達 (寝殿造りと貴族文化)] 日本の和洋文化の形成とともに発達した寝殿造りと生活様式について説明する。</p> <hr/> <p>第 8 回【5 月 14 日 上北恭史 芸術系】 [数寄屋建築と茶室] 数寄屋建築の事例として桂離宮について説明する。また茶室の特徴を講述する。</p> <hr/> <p>第 9 回【5 月 21 日 上北恭史 芸術系】 [江戸のまちと武家文化] 武家による江戸のまちづくりと武家の生活様式について説明する。</p> <hr/> <p>第 10 回【5 月 21 日 上北恭史 芸術系】 [江戸時代の生活様式と芸能] 江戸時代の町家や長屋で営まれていた庶民の文化および庶民文化として発展した歌舞伎などの芸能について説明する。</p>		
履修条件	外国人留学生及び帰国学生に限る。		
成績評価方法	出席 70%、およびレポート。		
授業外における学習方法	事前に資料で基礎知識を得てから実物を見に行くこと。		
教材・参考文献	授業時に配付する。 1. カラー版日本史図説、東京書籍株式会社		

オフィスア ワー・連絡先	上北 恭史 木 10:00~12:00(要事前連絡) uekita@heritage.tsukuba.ac.jp http://www.heritage.tsukuba.ac.jp/faculty01.php?catid=19&blogid=4
履修者へのメッ セージ	大学外に出かけていき、芸術作品や文化財の本物を積極的にみてほしい。

授業科目名	ダイバーシティスタディーズ入門		
科目番号	1B26101	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	秋 AB 月 2
担当教員	河野 禎之, 五十嵐 浩也		
授業概要	グローバル化の加速とともに、人種、民族、宗教、言語、身体的特徴、働き方など、多様な属性を備えた人々が入り混じるようになり、社会や組織のダイバーシティが否応なく高まっています。本科目では、このような現代社会が抱える諸問題への関心やその解決のための理解度を高めていくことを目指します。		
備考	(ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター企画) 【受入上限数 80 名】		
授業形態	講義		
科目群	B 精神、文化、社会、歴史に関わる総合科目		
水準・区分	100 番台・学際的科目		
教育目的	グローバル化の加速とともに、人種、民族、宗教、言語、身体的特徴、働き方など、多様な属性を備えた人々が入り混じるようになり、社会や組織のダイバーシティが否応なく高まっています。本科目では、このような現代社会が抱える諸問題への関心やその解決のための理解度を高めていくことを目指します。		
到達目標	1. ダイバーシティに関する現代の諸問題に関心を持つこと。 2. 学問的な理論・知見と現場レベルの課題を結びつけて理解すること。 3. ソリューションを考える上で不可欠な知識や具体的方法を身に付けること。		
キーワード	共生, 異文化, ダイバーシティマネジメント, 公共政策, 市民社会, 社会福祉		
各回授業計画	<p>第 1 回【10 月 7 日 河野禎之 人間系】 [イントロダクション] 授業の狙い、ダイバーシティスタディーズの意義などについて概説します。また、今後の授業に先立ち、グループワークを通じて参加者の課題意識を明らかにします。</p> <hr/> <p>第 2 回【10 月 18 日 (振替授業日) 外部講師】 [ダイバーシティと異文化/国際開発] ダイバーシティをめぐる諸問題について、特に異文化や国際開発の観点からどのような課題が生まれ、その解決のための取り組みが行われているのかを学びます。</p> <hr/> <p>第 3 回【10 月 21 日 外部講師】 [実践への導入 (1) ダイバーシティと市民社会組織] ダイバーシティをめぐる諸問題に対する市民社会組織 (e.g. NGO) による実践的取り組みを学びます。</p> <hr/> <p>第 4 回【10 月 28 日 河野禎之 人間系】 [実践への導入 (2) ダイバーシティと企業] ダイバーシティをめぐる諸問題に対する民間企業の実践的取り組みを学びます。ゲストスピーカーとして企業の人事スペシャリストを招きます。</p> <hr/> <p>第 5 回【11 月 6 日 岡典子 人間系】 [ダイバーシティと障害] ダイバーシティと障害 (とくにインクルーシブ教育) との関係、そのための支援や対応のあり方を学びます。</p> <hr/> <p>第 6 回【11 月 18 日 河野禎之 人間系】 [ダイバーシティと社会福祉] ダイバーシティをめぐる諸問題について、社会福祉の観点から、特に認知症をトピックにその実践的取り組みを多角的に学びます。</p> <hr/> <p>第 7 回【11 月 25 日 ラミチャネ・カマル CRICED】 [ダイバーシティと福祉と経済] ダイバーシティをめぐる諸問題について、福祉の視点、経済の視点、経営の視点から検討します。</p> <hr/> <p>第 8 回【12 月 2 日 外部講師】 [ダイバーシティと性] LGBT など性に関するダイバーシティの課題について理解を深めます。</p> <hr/> <p>第 9 回【12 月 9 日 河野禎之 人間系 他】 [グループディスカッション] プレゼンテーションの準備作業の一環として、各グループが設定した課題についてグループごと</p>		

	<p>第10回【12月16日 河野禎之 人間系 他】 [総括(前半)] 各回講義の内容を結びつけ、体系的な理解を促します。グループごとにプレゼンテーションを行いません。コメンテーターも置きます。</p> <hr/> <p>第11回【12月23日 河野禎之 人間系 他】 [試験日:総括(後半)] 各回講義の内容を結びつけ、体系的な理解を促します。グループごとにプレゼンテーションを行いません。コメンテーターも置きます。試験に代えてレポートを課します。</p>
履修条件	「ワーク・ライフ学 - 男女共同参画とダイバーシティ - 」を併せて受講することを推奨します。
成績評価方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. レポート:課題に対するの展開能力と妥当性、独創性 80% 2. 授業内課題:各回の課題を理解し、企画力、展開能力をみる 20% 3. 2/3以上の出席がある者を成績評価対象とします。
授業外における学習方法	ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンターで企画する各種事業への参加も、授業外の学習として認めます。授業で得た知識をヒントに、最終課題に応えるためのリサーチを主体的に進めることにより、ダイバーシティに関する理解を深めていきます。
教材・参考文献	教科書は特に定めません。必要に応じてプリントを配布し、各回で担当教員が紹介します。
オフィスアワー・連絡先	河野 禎之 木曜日昼休み(要事前連絡)
履修者へのメッセージ	<p>授業では後半にグループワークとプレゼンテーションを内容に含みます。ダイバーシティに関心を向け、深い理解やより広い知識を目指して、各自で積極的に文献等に当たるとともに、講義最終回の総括におけるディスカッションに積極的に、能動的に参加してください。必要な場合には、講師への質問や議論も歓迎します。なお、グループワークの指導と各グループの発表時間を確保するため、受入上限数を80名に設定しています。</p> <p>(注) 外部講師との調整により日程の入れ替えや内容の変更の可能性があります。</p>

授業科目名	日本の歴史		
科目番号	1B26511	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	春 AB 月 2
担当教員	山澤 学		
授業概要	日本の歴史について、各時代の重要なトピックを取り上げ、学修する。		
備考	(比年開設) 履修は、留学生および外国滞在期間 5 年以上の帰国生徒に限る。平成 27 年度以前に (7200111) の単位を既に取得している学生は履修不可。 【受講制限数 40 名】		
授業形態	講義		
科目群	B		
水準・区分	100 番台・異分野入門的科目		
教育目的	1. 具体的な事例の学習を通じ、日本の歴史に関する基礎的知識を修得する。 2. 日本の歴史の学習を通じ、世界各国における社会・文化の独自性と共通性に対する理解を深める。 3. 日本の歴史への認識を深め、現代社会における諸問題を発見・解決する能力を養う。		
到達目標	1. 日本の歴史に関する基礎的知識を列記することができる。 2. 日本および世界各国における社会・文化の独自性と共通性を論理的に示すことができる。 3. 日本の歴史への認識を深め、現代社会における諸問題を発見・解決することができる。		
キーワード	日本, 歴史, 社会, 文化, 世界史的視野, 現代社会		
各回授業計画	<p>第 1 回【4 月 15 日 山澤 学 人文社会系】 [ガイダンス]</p> <hr/> <p>第 2 回【4 月 22 日 三谷 芳幸 人文社会系】 [古代: 古代国家の成立と展開 (1)] 飛鳥・奈良時代の国家の特質を、他の東アジア諸国との関係から論じる。</p> <hr/> <p>第 3 回【5 月 9 日 三谷 芳幸 人文社会系】 [古代: 古代国家の成立と展開 (2)] 平安時代の国家の特質を、他の東アジア諸国との関係から論じる。</p> <hr/> <p>第 4 回【5 月 13 日 山澤 学 人文社会系】 [中世: 武家政治の成立と展開] 鎌倉~室町時代における武家政治とその社会の特徴について講ずる。</p> <hr/> <p>第 5 回【5 月 20 日 山澤 学 人文社会系】 [近世: 江戸時代の文化と社会] 江戸時代の町人文化を生み出した政治・社会・経済について講ずる。</p> <hr/> <p>第 6 回【5 月 27 日 中西 僚太郎 人文社会系】 [近世・近代: 17 世紀から 19 世紀の社会と経済] 江戸時代から明治初期にかけての人口の変化と社会・経済との関わりについて講ずる。</p> <hr/> <p>第 7 回【6 月 3 日 中野目 徹 人文社会系】 [近代: 日本の近代とは何か] 近代の始期と時期区分、東アジアにおける日本の近代社会の特質について論じる。</p> <hr/> <p>第 8 回【6 月 10 日 伊藤 純郎 人文社会系】 [近代: 昭和戦前期の日本] 昭和戦前期の日本の歴史を アジア・太平洋戦争に焦点をあて、民衆と生活の視点から述べる。</p> <hr/> <p>第 9 回【6 月 17 日 朴 宣美 人文社会系】 [現代: 現代の日本社会] 終戦後の社会変化や特徴について考察する。</p> <hr/> <p>第 10 回【6 月 24 日 山澤 学 人文社会系】 [まとめ] 講義全体を総括し、日本の歴史に対する認識を深める。</p>		
履修条件	外国人留学生及び海外滞在 5 年以上の帰国生徒に限る。		
成績評価方法	評価方法 (評価割合)・・・評価基準 A: 期末レポート (60%)... 理解, 応用力, 創造性。 B: 授業内提出物 (40%)... 授業への興味・関心, 理解, 考察力。		

授業外における学習方法	授業で取り上げられた問題について、各回の担当教員から紹介された資料・文献を精読し、復習すること。
教材・参考文献	教材は、とくに指定しない。参考文献は各回の担当教員から適宜、紹介する。
オフィスアワー・連絡先	必要があれば、授業時に知らせる。 火:15:00~16:30。それ以外にも事前連絡により対応可能。 人文社会学系棟 B716 yamasawa.manabu.fm at u.tsukuba.ac.jp http://www.histanth.tsukuba.ac.jp/member/yamasawa.html
履修者へのメッセージ	単に授業を聞くだけでなく、履修者自らが問題意識を持ち、独自に考察を深めてもらいたい。

授業科目名	日本の産業・都市見学実習		
科目番号	1B26513	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	通年 集中
担当教員			
授業概要	詳細が決定次第、各掲示板にて掲示する。		
備考	(情報科学類開設) 外国人留学生及び帰国生徒に限る。 交通費は参加者負担。		
授業形態	実習・実験・実技		
科目群	B		
水準・区分	100 番台・学際的科目		
教育目的	詳細が決定次第、掲示板にて連絡する。交通費は参加者負担である。		
到達目標			
キーワード			
各回授業計画			
履修条件	詳細が決定次第、各掲示板にて掲示する		
成績評価方法	詳細が決定次第、各掲示板にて掲示する		
授業外における 学習方法			
教材・参考文献			
オフィスア ワー・連絡先			
履修者へのメッ セージ			

授業科目名	日本の社会		
科目番号	1B26521	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	春 ABC 集中
担当教員	星野 豊		
授業概要	日本の生活と社会に関するさまざまなニュースを参考に概説する。具体的には、各回にテーマを設定し、日本の特徴をみていく。課外活動を入れながら、学生がひとりずつ日本の社会のテーマに合わせてプレゼンテーションする。できれば、各留學生が出身国の社会と事情を比較することにより、日本との一致点や相違点を明らかにする。これにより、日本の社会について理解を深める。		
備考	(社会開設) 外国人留學生及び帰国生徒に限る。学外活動引率とプレゼンテーションのために學生の人数を限定する。 【受入上限数 20 名】		
授業形態	講義		
科目群	B		
水準・区分	100 番台・異分野入門的科目		
教育目的	日本の特徴について、多角的な視野から理解を深める。		
到達目標	日本の社会を理解するための多角的な視野をやしなう。		
キーワード	日本の社会システム、日本の文化と制度、日本・日本人とは何か		
各回授業計画	本年度は新天皇即位が予定されているため、これを題材として日本社会について考えてみる。 1)2019 年 4 月中に、本科目についての説明と、下記社会観察実施のために必要な知識教授等を行う。具体的な日時は未定であるが、概ね 3 時間程度を見込んでいる。 2) 新天皇の即位式典が行われる日の皇居付近で社会観察を行い、新天皇の即位が市民や事業者にとってどのような意味づけをされているかを考えてみる。併せて、天皇制の基礎と特徴について、憲法・行政法・国際法専門家から教示を受ける。日程としては、2019 年 5 月 1 日の午前 9 時頃から午後 5 時頃までの約 8 時間程を予定している。 3) 上記で学んだことを基に、各自の出身国における文化や制度との比較検討を主な題材として、全員で議論する。日程及び時間帯は未定だが、概ね 4 時間程度を見込んでいる。		
履修条件	本科目に積極的に参加するためには、相応の日本能力を有するか、日本語補助器具を使用する必要がある可能性が高い。 外国人留學生及び帰国生徒に限る。		
成績評価方法	日本語で作成したレポートによる。		
授業外における学習方法	母国語を併用して差し支えないので、本年度における日本の社会のあらゆる現象について広く興味を持つことを勧める。		
教材・参考文献			
オフィスアワー・連絡先	メールにて事前連絡をしていただき、都度日時を確定させる hoshino.yutaka.gm at u.tsukuba.ac.jp		
履修者へのメッセージ	天皇の交代は、数十年に一度しかない機会であり、かつ、今回は、現天皇の生前中に新天皇が即位するという、現在の日本人が誰も経験していない状況にある。日本人と日本国家にとっての天皇の存在と意義づけは、日本社会、日本文化全体にわたる深い問題であり、その実態を直接観察できることは、大変幸運であると思われる。		